

※金額は、万円未満切捨

予算可決 45億8740万円

国民健康保険 特別

一般会計から1億5000万円を繰り入れ

！当初予算のポイント

前年度より6919万円増加。今年度も財源不足を補うため、1億5000万円の繰入金計上されている。国保加入世帯は、全世帯数の43・2%、6126世帯（2月1日現在）。「健康づくり・チャレンジポイント事業」やジェネリック医薬品の普及啓発などにより、医療費の適正化と効率的な運営に努める予算。

！反対

！討論

田母神節子議員

安心して医者にかかれるようにすることは、社会保障の精神。4世帯に資格証明書が渡され、その予備軍と言われる短期保険証が50世帯。びくびくしながら医者へ行くのでは病気が悪化してしまふ。高すぎる国保税の年1万円の値下げを要求する。

予算可決 4億2828万円

下水道事業 特別

男衾駅周辺で面整備実施 来年度に向けた設計も

！当初予算のポイント

男衾駅周辺地区の1・3ヘクタールに、来年度の面整備工事に向け、測量・設計及び地質調査等が進められる。

！賛成

！討論

津久井康雄議員

健全経営推進に特段の努力を。面整備工事においては、ほかの都市計画事業との整合を図りつつ推進。次年度に向けた測量・設計及び地質調査など、計画的な事業展開が見込まれる。事業効果を高めるため、啓発活動と健全経営の推進について、特段の努力を要望する。



男衾駅周辺の管渠埋設工事

予算可決 8529万円

農業集落排水事業 特別

水洗化率の向上と 施設の維持管理に努力

！当初予算のポイント

収入は折原地区の施設使用料の4%の増収。また、未接続の家庭に対しての接続を促し、水洗化率の向上に努めるとともに、今市地区の汚泥濃度計の交換工事を行う等、施設の適切な維持管理を行い、適正な水質管理に努める。

水道事業会計

安全・安心な給水のため、水道ビジョンを策定

！当初予算のポイント

民間の企業会計と相互の比較分析を容易にするため、制度の見直しが行われ、新基準での最初の予算編成。将来にわたり、安全・安心な水道水を供給するために、平成26年度から2カ年で水道ビジョンを策定。道路改良工事等の公共事業にあわせ、配水管の増径や布設替えを行うほか、計画的な老朽管の更新を進める。

！賛成

！討論

神田 崇議員

税収の確保と加入者の理解を。財政改善を進める上で、国保税収の確保は重要だが、加入者の所得増加が望めない状況において、保険税が大きな負担になっていると感じる部分もある。適正な課税と収納の確保を図ることとあわせ、加入者の理解を得られるよう努めてほしい。



健康診査の合間には講話も行います

予算可決 3億2437万円

後期高齢者医療 特別

健康診査や人間ドック 費用を引き続き助成

！当初予算のポイント

運営主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料納付通知書の送付と徴収、給付申請などの窓口事務を実施。そのほか、健康診査や人間ドック費用の助成の継続、健康づくり事業にも取り組む。

！反対

！討論

田母神節子議員

高齢者いじめの制度は廃止を。年金から天引きできない人が22%で年々増加傾向。また88人が保険料が支払えないで滞納している。滞納者に保険証を渡さないことのないようにしてもらいたいこと、今回の値上げにも反対。高齢者いじめの制度は廃止しかない。

！賛成

！討論

鈴木詠子議員

保険料上げ幅の抑制等を評価。高齢者の健康保持、医療費増加抑制への取り組み姿勢、県後期高齢者医療広域連合における保険料率改定時に剰余金の活用等で上げ幅を低く抑える配慮について評価。保険料負担に対する理解への丁寧な対応と健全運営のためのさらなる努力を要望。



計画的に老朽管を更新します

！反対

！討論

田母神節子議員

10立方メートルの基準を。当町においては、水道の基本水量は20立方メートルになっているが、現状を見ると10立方メートル以下の方が増加傾向。その多くは、単身者や高齢者世帯などである。公共の福祉に寄与するという面から、早期に10立方メートルの基準が必要である。

！賛成

！討論

龍澤 忍議員

安定給水と健全経営の維持を。安定給水に努めているほか、収入確保のための強化対策等、経営努力の姿勢がうかがえる。水道事業の将来を見据えて水道ビジョンを策定し、安定給水の強化、健全経営の維持、持続可能な事業運営を行うよう特段の努力を要望する。